

# 第 25 回全国スカウトフォーラム

## 参加報告書

2024/11/02 - 2024/11/04

*IN HYOGO*



報告者：ボーイスカウト長岡第1団 新潟県代表

ベンチャースカウト隊 水澤舜翔

報告日時：2024年11月24日

報告先：・日本ボーイスカウト新潟連盟

・ボーイスカウト新潟連盟 ベンチャーコミッショナー

・ボーイスカウト長岡第1団 指導者

## 《概要》

**開催期間：**2024/11/02 - 2024/11/04

**開催場所：**兵庫県立嬉野台生涯教育センター

**宿泊場所：**兵庫県立嬉野台生涯教育センター 宿泊棟

**参加数：**・スカウト→73名 ・運営委員→15名 ・合計→88名

(詳細)

—スカウト—

北海道・青森・岩手・宮城・福島・秋田・山形・茨城・栃木・群馬・埼玉・東京・千葉  
神奈川・長野・山梨・静岡・愛知・岐阜・新潟・富山・石川・福井・滋賀・京都・大阪  
奈良・三重・和歌山・兵庫・岡山・広島・山口・島根・鳥取・愛媛・福岡・大分・鹿児島  
熊本・佐賀・長崎・沖縄 以上 43 都道府県

—運営委員—

・運営委員長…1名 ・プログラム担当…2名 ・記録担当…2名  
・生活担当…1名 ・ファシリテーター…9名 以上 15名

**講師：**・事前集会…特定非営利活動法人 こうベユースネット 理事長  
辻 幸志 (つじ こうじ) 氏

・当日…特定非営利活動法人 シミンズシーズ 代表理事  
柏木 登起 (かしわぎ とき) 氏

**移動手段：**・長岡⇄東京 間 / 上越新幹線 ・東京⇄新神戸 間 / 東海道新幹線  
・新神戸駅⇄兵庫県立嬉野台生涯教育センター / 大型バス  
・長岡駅⇄自宅 間 / 自家用車

**所属班：**フォーラム期間中、第5班 (5グループ) に所属 ※以下メンバー

◎静岡県連盟 島崎

・岩手連盟 藤澤 ・新潟連盟 水澤 ・群馬県連盟 平山  
・奈良連盟 長澤 ・熊本県連盟 高橋  
・ファシリテーター 山口県連盟 岑

**テーマ：** 「高校生年代×地域社会 ～私たちだからできること～」

《タイムスケジュール》

	2024/11/02	2024/11/03	2024/11/04	
06:00		起床	起床	06:00
07:00		朝礼	朝礼	07:00
07:30		モーニングゲーム	点検	07:30
08:00		朝食	朝食	08:00
09:00		県フォーラム報告	全体会	09:00
10:00		分科会①		10:00
11:00		分科会②	閉会式	11:00
12:00		昼食	(大型バスで移動した後、新神戸駅にて)	12:00
13:00	開会式	分科会③	解散)	13:00
14:00	オリエンテーション	分科会④		14:00
15:00	基調講演			15:00
17:00	夕食	分科会⑤		17:00
18:00	交流会①	夕食		18:00
19:00	入浴	交流会②		19:00
20:00		入浴 (議長会議)		20:00
21:00	消灯			21:00
21:30		消灯		21:30
22:00				22:00
23:00				23:00

※大雨により東海道新幹線、新富士駅にて約2時間程度の運転見合わせ  
大幅に遅延し、開会式並びにオリエンテーションには参加できなかった。

## 分科会①

ーグループ内でのコミュニケーションルールなどの役割決めー

### 【グループルール】

- 1,一線を超える発言はしない
- 2,プラス思考
- 3,とりあえず言ってみる
- 4,あだ名で呼ぶ
- 5,ずっと笑顔

ーテーマ「高校生年代×地域社会 ～私たちだからできること～」についての深堀ー

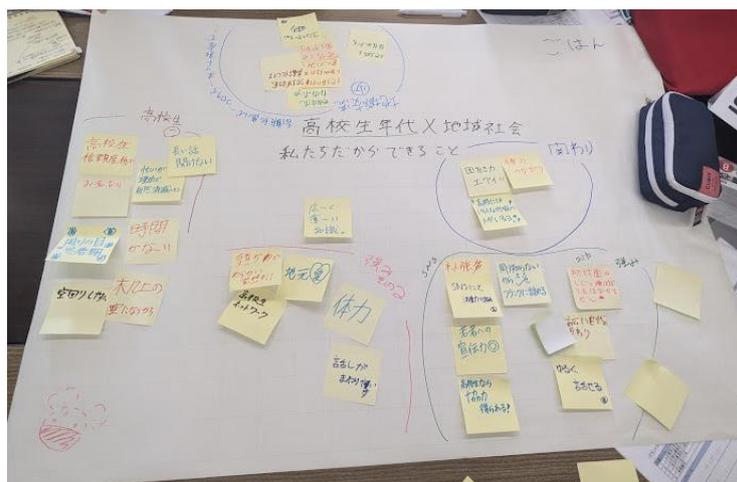
## Q,高校生ってどんな存在？

### 【強み】

- ・インターネットやSNSなどのコミュニケーションツールの扱いに慣れている
- ・同年代などへの宣伝力に優れている。

### 【弱み】

- ・周りからの信頼度が低い面もある。
- ・金銭的な問題
- ・周りの目気になる（思春期）
- ・時間がない
- ・忙しいことを理由に自然消滅しがち
- ・空回りしやすい
- ・机上の空論になりがち



## Q,地域社会とは

### 【地域社会の現状 # プラス】

- ・挨拶がいい地域もある
- ・市主催などのイベントが多数ある
- ・イベント施設の使いよさ

### 【地域社会の現状 # マイナス】

- ・高齢化が進んだ

→地域の行事に参加するのは年寄りばっか

- ・地域間交流が減った

# 各県、地域によってそれぞれ違った課題や高校生の周りからのイメージがあった。  
また、各県の特徴が問題点やイメージから見えることができた。

## 分科会②③

### —地域課題とその原因—

#### 【地域の魅力】

- ・町の魅力がない、知らない ⇒発信されていない
- ・商店街のシャッター化 ⇒次のなり手と、お客が減ってしまっている
- ・雰囲気が暗い ⇒行政などによる環境整備（街頭など）が不十分

#### 【交流関係】

- ・少子高齢化 ⇒主体的な人がいなくなった
- 廃校の増加、農家の跡継ぎの減少
- ・情報、教育の地域格差 ⇒若者の興味を引けていない
- ・交流が少ない ⇒高校生対象が少ない

#### 【防災関連】

- ・防災訓練に参加する人がいない ⇒長時間拘束される
- ・災害があるのに地域の結びつきがない ⇒対象がどこまでかわからない
- ・災害の経験者不足 ⇒危機感薄い

#### 【インフラ関連】

- ・道が汚い ⇒人手なくてそこまで手が回らない
- ・街灯少ない ⇒金銭的問題？
- ・バス少ない ⇒運転手不足

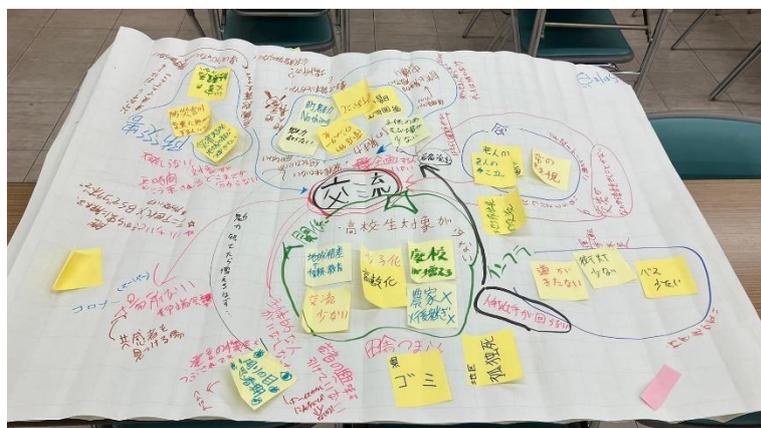
#### 【いのち】

- ・老人の孤独死 ⇒戦争について知らない
- ・命の軽視 ⇒人を殺すゲームが多い

### —原因の原因考察— \*→の先がさらなる原因、☆がその解決方法案

- ・**人手不足** →若者が都市部に流出している
- 町の魅力が少ない！！ →地元愛少ない
- ☆地元愛を高める ☆魅力知ってたら主体的な人も増えるはず、、、

- ・**交流が少ない**
- コロナ渦で閉鎖された？
- ・**命の軽視**
- 物騒なゲームが多い
- 子供の遊び場が少ない
- ・**主体的な活動を行える人がいない**
- 周りの目が気になる
- ボーイスカウトに偏見を持たれている



## 分科会④

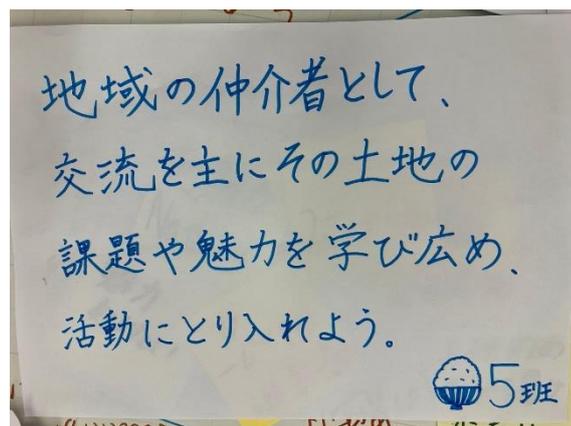
—提言文を決めるために各班でそれぞれ採択文をまとめる—

### 【キーワード】

- ☆仲介者：高齢者、親世代、若者等の世代間や、各地区の住民間の仲介者
- ☆特別に何か目的を持たず、コミュニケーションを図れる人を作るために、地区単位で集まって趣味や防災など広い内容について楽しく話す
- ☆ボーイスカウトのみならず、地域での活動も含む

### 【5班の採択文】

**”地域“の仲介者として、  
交流を主にその土地の話題や魅力を学び広め、  
活動に取り入れよう**



『決して自分たちが目立つのではなく、地域の交流をスムーズにするための人と人の橋渡しでありたい。また、自分たちで学び・発信することで交流が深まるきっかけにもなる。』  
というようなおもいで5班はこの採択文を作成した。

### 【議長】

各班から一名議長を選出し、議長会議で全議長が自分たちの班の採択文をすべて汲み取った提言文を作成した。

## 分科会⑤

### 【PDCA サイクル】

・PDCA プランを想定して作成し、その流れとPDCA サイクルの重要性。例えば、計画において物事を円滑に進行できるためのひとつなどを実際に作成する流れで習得した。

## 交流会①②

交流会では、全国のスカウトとゲームを通して親睦を深めることができました。それぞれの地域の特産品や有名な観光スポットの話などふだんの生活では知りえない情報まで得ることができました。

## 全体会

議長団が中心となり決定した提言文をぜひたいで認識を同じにするための質疑応答を実施。  
決定した提言文が以下のとおりである ※提言文は様々な捉え方ができるようにひらがな表記になっている

# きっかけをつくれる VS が先陣を切る !!

## 身のまわりの人を巻き込み、

### “地域をよりよくするための意識を 0 から 1 へ”

この提言文は、ボーイスカウトにおいて普段から周りの手本となるべき存在であるベンチヤースカウトは当たり前として先頭に立ってもの後を進めていく力がある。その力を発揮して、周りの大人や地域のかた、行政などを巻き込んで現状の地域をよりよくするための活動を“0”とおいて次のステップ“1”を目指して活動していこう！という意味と意思が込められている。

#### —感想—

この3日間を通して、多くの地域の違った課題や似たような課題など多くのものが様々な角度から見たことによって明らかになりました。その中でも新潟県に当てはまるような課題やその解決策などもたまた見受けられました。そのような課題と解決策をぜひ自分たちの隊や県などで実際に行うことができれば更なる課題やもっといい策などが見えてき、提言文にもあるような0から1という部分で大いに地域との交流が芽生えてくると感じました。また、多くのスカウトと久しぶりに交流することができとても楽しく自分のためになる活動になったともいます。ただ、一つ今回の活動で残念に思えたのが、自分は該当しませんが、一部の県の代表が規則を無視して夜中に宿泊棟を抜け出し、遊んでいたことは同じスカウトとしてもどうかと思いました。いくら楽しいく、テンションが向上していたとしてもスカウトならば、歯止めをきかせメリハリある行動をするべきではなかったのではないかと感じました。自分も羽目を外さないように気を付けようとも思いました。

最後に、今回のフォーラムに参加するにあたって様々な支援をしていただいた指導者の方、特に牧島コミッショナーには金銭的事由の校章などしていただいて心から感謝いたします。このフォーラムが自分のため、県のためになったといえるように、今後の活動も精一杯頑張っていきます。

以上で第25回全国スカウトフォーラムの参加報告といたします。

## 隊長初見

採択されたフォーラムの宣言の趣旨や意図、分科会で討議された事案等をアフタフォーラムで説明、報告してください。

フォーラム宣言を基に、新潟スカウトフォーラムで採択された事案を昇華させ、アクションプランの策定に取り組み、実行することを期待します

ボーイスカウト長岡第1団 ベンチャースカウト隊 隊長 山崎広信

写真資料

